

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム 梅の木

目標達成計画

作成日: 令和 1年 10月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	現在、身体拘束適正化委員会の開催状況が分かりづらいため、委員会開催時には明確な記録を残すとともに、新人職員への身体拘束に関する研修を実施した際にも研修記録を残す事が望まれる。	身体拘束の勉強会を定期的に行っているが、勉強会内容の議事録が何回か無かった時があったので、今後はその都度、議事録を必ず作成するように努める。	今後は身体拘束研修に関しては必ず議事録を作成し、参加できなかった職員に関しては資料を配布し勉強会内容の周知を徹底する。また、新人職員に関しては積極的に研修会へ参加させ、知識等の向上に努める。	6ヶ月
2	35	近年、自然災害が多発していることを踏まえ、ホーム内にハザードマップを掲示し避難ルートや危険個所を再確認するとともに、自然災害を想定した避難訓練を実施する事が望まれる。	近隣のハザードマップの掲示と自然災害を想定した避難ルートの再確認と災害を想定した避難訓練を実施する。	近隣のハザードマップは市町村より既にいただいております。今後は火災訓練のみではなく自然災害を想定した避難訓練を行い、危険個所や避難ルートの再確認を実施する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。